



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 長谷川 慎一郎
(指導医)集中治療科 岡野 弘

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 長谷川 慎一郎

当院集中治療科で人工呼吸器管理を受けた方を対象とした

鎮痛に関する研究

1.研究の対象

2021年4月～2024年5月に当院集中治療科で人工呼吸器管理を受けた18歳以上の患者

2.研究の目的・方法

人工呼吸管理中の鎮痛は従来フェンタニルが多く使用されてきました。ただフェンタニルは半減期が長く、血中での再分布や蓄積が起りやすいことや、臓器障害により薬物動態が変化しやすく、呼吸抑制や心血管系の有害事象、人工呼吸期間の延長、人工呼吸器離脱の遅延、ICU獲得性横隔膜障害などの報告もされているのが現状です。これらの課題に対し、作用発現と消失が速やかで、蓄積のリスクが低いレミフェンタニルによる鎮痛はより安全な代替薬となり得ます。

本研究の目的は、レミフェンタニルがこれまでの麻薬管理（主にフェンタニル）を受けた人工呼吸患者と比較して人工呼吸時間を短縮するかを検討することです。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年8月9日以降を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液検査データ、内服処方薬、点滴処方薬、副作用等の発生状況、カルテ番号、性別、年齢、身長・体重 等